



地震 × 社会

「巨大地震の発生可能性が普段より高まった」と 言われたら、どうしますか？

近い将来、南海トラフ巨大地震が高い確率で発生することが予測されています。そして、地震発生の可能性が普段と比べて高まったと科学的に判断された場合、「南海トラフ地震臨時情報」が気象庁から発表されることになりました。

「地震の発生可能性が普段より高いが、絶対に起きるとは限らない」という、“不確実な地震の情報”をどう受け止め生活に生かすことができるのか、どういう仕組みであれば活用することができるのか、地震学の専門家と一緒に考えてみませんか？



講師

ふくしまよう

福島 洋

(東北大学
災害科学国際研究所 准教授)

ファシリテーター

ちゅうばち なつこ

中鉢 奈津子

(東北大学
災害科学国際研究所 特任助教)



2019年5月17日(金) 19:00 - 20:30

(18:30 - 開場)

文部科学省情報ひろばラウンジ

銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結
千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分

本イベントは、サイエンスアゴラの
連携企画の一環として開催します

主催 文部科学省
共催 科学技術振興機構 (JST)



サイエンスカフェって？

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の方々が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について自由に語り合うコミュニケーションの場です。「科学の話なんて難しそう...」「興味はあるけど緊張するな...」と思った方も大丈夫！先生たちがわかりやすく最先端の科学の世界を紹介します！



今回のイチオシポイント！
地震予知をめぐる科学の最新情報と、「南海トラフ臨時情報」について

今回考えてみたいこと…
「不確実な地震の情報」に直面したとき、あなただったらどうしますか？どうやったらこの情報を活用できるでしょうか？皆で一緒に考えてみましょう。

今回の難易度 … ★☆☆



福島さんと中鉢さんってこんな人！



講師 福島 洋

東北大学災害科学国際研究所で地震や火山などの研究・教育をおこなっています。地震などの危険性の予測につなげることを目指し、衛星データをつかって地面のわずかな変形を捉えて地震や火山のメカニズムを解明するというのを主な専門テーマにしています。地震については、危険性があるということがわかったとしても、いつ起こるのか、どれくらいの規模のものになるのかといったことは現代の科学ではよくわかりません。そのような科学の限界をふまえたうえで、いかに災害に強い社会をつくっていけるかということにも興味を持っていて、「南海トラフ地震臨時情報」の仕組みを防災に活かすための研究プロジェクトも推進しています。



ファシリテーター
中鉢 奈津子

もともと人文地理学の研究者を目指していましたが、専業主婦を経て2014年から東北大学災害科学国際研究所で広報担当をしています。防災については素人としてスタートし、周囲の研究者の話している内容が分からず四苦八苦しているうちに、防災の奥深さに気づいた今日この頃です。まず自分が理解したい、その上で専門用語を使わずに社会に伝えたいという動機で仕事を続けています。



申込方法

右記のフォーマットで、事前にメールでお申込ください。

Email

[宛先] sciencecafe@ifys.jp

[件名] 5/17サイエンスカフェ参加希望

氏名：

所属：

(以下はありましたらお書きください)

福島さんと中鉢さんに聞きたいこと：

＼参加をお待ちしています！／



今後の開催日時（予定）

(テーマは決まり次第、科学技術週間ホームページ上でお知らせいたします)

第2回：7月19日（金）19:00～20:30

第3回：9月20日（金）19:00～20:30